

スポ推よこすか



71号



協議会 HP

令和7年12月23日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 林 但

令和7年度 全国スポーツ推進委員研究協議会(長野大会)

令和7年11月13日(木)14日(金)の二日間に渡り全国スポーツ推進委員研究協議会(長野大会)が「行こう!地域スポーツの頂へ」のテーマで全国のスポーツ推進委員3300名程が一堂に会し長野県ビッグハット(多目的スポーツアリーナ)で開催されました。



大会に先立ち高山アルプホルンの素晴らしい演奏・長野県長野商業高等学校チアリーディング部の活気あるacroバティックな技を取り入れたダンスなどで歓迎していただきました。



開会の言葉に始まり、続いて表彰式が行われました。文部科学大臣表彰79名・スポーツ推進委員功労者表彰176名・30年勤続表彰334名・優良団体35団体でした。受賞者を代表して長野県スポーツ推進委員の佐藤一郎様よりこの賞は個人のものではなく自治体や共に活動した推進委員の支えがあったからこそ、いただけましたと謝辞がありました。



次にパリオリンピック柔道女子57kg級金メダリスト出口クリスタ氏の「今日を生き抜く・普通の私がカナダ初の金メダルを掘むまで」のテーマで基調講演がありました。クリスタ氏がカナダ代表を選んだ理由、勝つことを目的としてならチャンスはカナダ代表の方が有利、柔道は3歳で始めスランプこそ成長のチャンスと気付かされた事もあったと、カナダ代表になってポジティブに色々考え計画を立て前向きに、今日を精一杯生きることを学んだとのことでした。

続いてのシンポジウムではテーマ【「つくる/はぐくむ」「誰もがアクセスできる」「集まり共に繋がる」地域スポーツ環境を作るために】に対して3名のシンポジストの話がありスポーツ推進委員が繋げる力を持っているとのこと。

翌日には、第三分科会に参加し「アダプテッドスポーツの推進と健康寿命の延伸を支える」のテーマで色々学んで来ました。★アイスブレイク=緊張をほぐし、場の空気を和ませる為のゲームなどでコミュニケーション(じゃんけんゲーム)等があるそうです。会場一体になって体験し楽しく終わることができました。

記事 副会長 鈴木 幸子(汐入)

写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

藤沢市・大和市・横須賀市交流研修

9月20日(土)藤沢市秩父宮記念体育館にて3市の交流研修会を開催されました。

本年度は藤沢市が幹事となり、実技研修会としては、『ワンバウンドふらば～るバレー ボール』『シャフルボード』『おもしろ卓球』の3種目を体験してきました。

ワンバウンドふらば～るバレー ボールは楕円形のボールを使ったバレー ボールです。必ず最初は1回ワンバウンドさせなければならないルールがあり、落としてはいけない！が身についている方々には大変そうでした。ただ、コートの中では必然と皆で声を掛け合い、チームワークがとても大切なところはこのスポーツの良いところかもしれませんね。



シャフルボードはキュ(細長い杖)を用いたカーリングのようなもの・・・と言えばイメージが付きやすいかもしれません。そんなに運動量も必要としない為、男女差なく、世代を超えて楽しめるスポーツ、という感じで楽しめました。

その中でも一番楽しめたのは、やはりおもしろ卓球です。こちらはまさに温泉宿での卓球で、ラケットはなんと、スリッパとかまぼこの板です（小田原鉛廣のかまぼこ板が一番良いとか・・？？）初めはピンポン的な感じで打ち合っていたものの、あっという間に皆さん目の色が変わり、スマッシュの打ち合いに・・熱い熱い戦いが繰り広げられていました。



午後は情報交換会を行い、相互の交流を深めました。来年度は横須賀市が幹事となり、交流・研修の企画運営を行っていきます！

記事 広報部 副部長 古川竜治（汐入）

写真 広報部 部長 新堀 邦明（富士見）

よこすかスポーツフェスタ 2025



10月13日(祝) 横須賀市総合体育館にて、よこすかスポーツフェスタ 2025 が開催され、横須賀市スポーツ推進委員はサブアリーナで新体力測定、メインアリーナでモルック体験会を担当しました。

コートを2面設置し、各面に2名ずつスタッフを配置。



当日は開始直前に雨、屋外イベントは中止となりましたが屋内実施のモルック体験会は大盛況。

今回はモルック未経験者の参加が多数。まずはモルックの基本ルールや投げ方の紹介からスタートしました。また、親子での参加希望が特に多く、小さなお子さんには投げる位置を前に調整するなど、年齢に合わせた工夫を取り入れながら進行。

子どもから大人まで、みんなが同じフィールドで楽しめる時間となりました。

何組かは繰り返しゲームに参加して楽しむほど、モルックの“簡単だけど奥深い”ゲーム性に引き込まれていました。

体験会は合計6時間にわたって開催されましたが、参加者が楽しむ姿を見ていると、スタッフにとっても本当にあっという間で笑顔と熱気に包まれた、素敵なモルック体験会になりました。



記事 広報部 白山 晴之（汐入）

写真 広報部 部長 新堀 邦明（富士見）

成入ソフトボール大会 9月21日(日) 不入斗公園



第1回 CSY 杯グラウンド・ゴルフ大会

この大会は一般財団法人 CSY の支援を受けて行われる大会です。11月7日（金）好天の中、横須賀市佐原にあるリーフスタジアム（人工芝）で、参加選手・競技役員他を含め総勢 150名での開催となりました。この日は小春日和で、プレイすればするほど身体もほぐれ志気も上がり、記録続出（ホールインワン多発）と言う結果につながりました。



普段の練習では人工芝等の好条件の中でのプレイは殆どなく、ここは腕しだいで記録が伸ばせる場所でもあります。リーフスタジアム独特の人工芝の状態を読めれば勝てる可能性大。芝の芽を読むにはお陽さまを背にして順目（光が反射していてボールが転がりやすく距離が出る）と逆目（光が陰になり転がり難く力加減がむずかしい）があります。

<大会結果> 午前の部：11 チーム

優勝：湘南たけやま G・G Aチーム 計 288

準優勝：武小（山科クラブ） 計 295

3位：森崎学区 計 297

午後の部：10 チーム

優勝：池上学区（あべくらクラブ） 計 286

準優勝：シニアペリー 計 288

3位：船越 計 302

プレイを終えての呴き

- ・人工芝の難しさに悩まされた。
 - ・普段の練習の感覚とは全く違っていた。
 - ・50mの長距離を飛ばすのに苦労した。
 - ・15mでは距離感をつかむのがむずかしかった。
- 思っていた様な調整もできなかったが、グラウンド・ゴルフの面白さはここにありました。

また次回の大会でお会いできることを楽しみにしています。 記事 広報部 日下部 重夫（武山）

写真 広報部 部長 新堀 邦明（富士見）

横須賀・三浦地区ブロック研修会



10月25日（土）に横須賀三浦ブロックの研修会が三浦市総合体育館メインアリーナで行われました。

今年度は市政 70 周年の三浦市の主催で三市一町から総勢 56 名が集い行われました。



実技体験では①コーンホール、②ベールボール 5、③ラクロスの 3 種目で 3 グループに分かれ市町混成チームで行われました。

ラクロスは三浦市で活動しているチームの「MISTRAL」のメンバーの方が 4 名サポーターとして来ていただき、丁寧にご指導いただきました。



コーンホール

ラクロス

記事・写真 広報部 部長 新堀 邦明（富士見）

編集後記

日々身体を動かすことは大切なことです。それそれに合う、例えばジムに通う・水泳・散歩・グーパーグーパーだけでも毎日続ける努力をしましょう。スポーツは脳も使います、考えながら実践する事を心がけましょう！

副会長 鈴木 幸子（汐入）

ホームページ

<http://sukataishi.jp>